

オール東京でオープンデータ化の好循環を更に促進

都庁+区市町村のオール東京で、公開ニーズの高い行政データのオープンデータ化を促進！

オープンデータ活用による
サービス開発 (2021年~実施)

都知事杯
Open Data
Hackathon

オープンデータカタログサイト

TOKYO
OPEN DATA
東京都 オープンデータカタログサイト

掲載
ファイル数

約4万件
(2021年3月時点) → 約6万件
(2023年12月末時点)

新たなサービスを創出

民間企業
シビックテック等



好循環の積み重ねにより
オープンデータ化を
更に促進

都民サービス



Quality
QOS向上
of Service

積極的なデータ公開

- データ棚卸結果や民間ニーズを踏まえ、積極的に各局がデータを公開
- ハッカソン実装サービスで使われたデータについて区市町村のオープンデータ公開を支援

行政機関 (東京都・
区市町村)



民間ニーズの把握



(2021~実施)



東京都オープンデータ
コミュニティ

東京都オープンデータ・ラウンドテーブル

開催目的

- ▶データ活用を希望する民間企業等からのニーズを東京都が直接聴取することで、都をはじめとする行政のオープンデータ化の取組を推進
- ▶成功事例の創出によりオープンデータ化に対する都職員の意識改革を促進



第1回（令和3年2月）

- テーマを限定せずに実施
- 市民開発者や大学教授、民間企業から提案
- EVの点検情報や観光に関する調査報告書など、既に公開されているデータのCSV形式での公開を要望
- 令和3年4月下旬公開

第2回（令和3年10月）

- 環境分野をテーマに実施
- 民間企業や大学教授から提案
- ごみ排出量やPM2.5等の大気汚染データなど、これまで公開していないデータについて、オープンデータとしての公開を要望
- 令和4年3月に公開

第3回（令和4年3月）

- 防災分野をテーマに実施
- 民間企業から提案
- 避難所や点群データなど、これまで公開していないデータについて、オープンデータとして公開を要望
- 令和4年4月に公開（点群データは、令和5年度公開）

第4回（令和4年8月）

- テーマを限定せずに実施
- 民間企業から提案
- これまで公開していないデータ及び公開済みデータについて、機械判読性の高いデータ形式での公開を要望
- 令和4年9月以降順次公開（緊急輸送道路データは、令和5年度公開予定）

第5回（令和5年2月）

- 「特別意見交換編」として、データ利活用をテーマに学生とスタートアップ企業の交流イベントを実施

第6回（令和5年9月）

- テーマを限定せずに実施
- 民間企業や大学関係者から提案
- これまで各局HPで公開済みデータについて、オープンデータとして機械判読性の高いデータ形式での公開を要望
- 令和6年3月末までにデータ整備し、順次公開予定

開催実績

東京都オープンデータコミュニティ

事業概要

- ・ オープンデータ利用者同士のコミュニケーションや利用者と都との間の繋がりをさらに活性化させるため、令和5年5月、「東京都オープンデータコミュニティ」(Slack を用いたオンラインコミュニティ) を構築
- ・ オープンデータを利用する方など、どなたでも無償で参加可能



会員数・属性

計 224名 (2024年1月末時点)

【内訳】 会社員:147名、公務員:26名
学生:18名、その他:25名、未回答:8名

本コミュニティ
への参加は
こちら

コミュニティターゲット

● オープンデータを利用する方

- ・ ODを活用したサービス開発に関心のある方
(エンジニア、デザイナー、学生等)
- ・ 行政課題の解決等に興味・関心のある方
- ・ ラウンドテーブル参加者
- ・ 都知事杯オープンデータ・ハッカソンの参加者

● ODに関するある庁内各局、区市町村職員

コミュニティ会員ができること

- ・ コミュニティ会員同士の情報共有や意見交換
 - ・ オープンデータ利活用事例の発信
 - ・ サービス開発メンバー募集
 - ・ コミュニティ会員イベントへの参加
 - ・ オープンデータやオープンデータ利活用に関する問い合わせ・提案
- など



都知事杯オープンデータ・ハッカソン

事業 概要

- ・ オープンデータを活用し、行政課題の解決に向けたサービス開発を行うイベント
- ・ 総統杯ハッカソンを参考に2021年度より実施、これまでに3回開催

シビックテック等との協働による新サービス創出

«2023年度のスケジュール»



プログラム開発



表彰式

詳しくは
こちら



サービス創出

参加者募集
(6月1日～7月21日)

2023年
659名
応募

プログラム開発
(8月7日～27日)
※計6日間

First Stage
9月10日

選出

Final Stage
(一般投票あり)
表彰式
10月22日

実装支援

- ・社会実装部門（シビックテック、企業・団体）
- ・アイデア提案部門（新設）

Final Stageへの進出
社会実装部門：15チーム
アイデア提案部門：3チーム

社会実装部門15チームは
年度末までサービス開発